

【観光分野】地域団体との意見交換会の概要について

区分	実施日	地域団体等（参加人数）				計
		広域観光組織	市町村観光協会	商工会・ 商工会議所	その他の観光事業者等	
安芸地域	R5.7.12	2	6	0	2	10
物部川地域	R5.6.15	2	3	3	3	11
高知市地域	R5.6.15	0	1	0	0	1
嶺北地域	R5.5.30	2	4	1	2	9
仁淀川地域	R5.6.05	0	7	0	0	7
高幡地域	R5.6.20	1	3	1	0	5
幡多地域	R5.7.19	1	3	0	0	4
土佐経済同 友会観光振 興委員会	R5.5.18	0	0	0	22	22
計		8	27	5	29	69

1 地域の現状と課題の確認

(1) 戦略的な観光地域づくり

○これまで磨き上げてきた観光商品を維持管理するためには、広域観光組織に対する人的、財政的な支援の強化が必要。

○中山間地域では、二次交通が十分でなく、大型観光バスの乗り入れが難しいなど、観光地へのアクセスが不便であり、販売施設、トイレなどの整備もまだまだ行き届いていない。

○「らんまん」効果で多くの観光客が訪れているが、その効果が地域の商店街まで波及していない。（観光客の大半が日帰りであることや中山間地域にお金の落ちる仕組みが無い。）

(2) 効果的なセールス&プロモーション

○地域の住民自らが、人を呼び込む力があることを理解していただく仕組みが必要。

○地域のコアな情報をタイムリーに観光客に向けて発信していくことが必要である。

○各広域観光組織、観光協会等で把握している観光客の入込数や消費額の数値がバラバラであるため、県全体で比較ができる何らかの基準が必要ではないか。

(3) おもてなしの推進

○中山間地域においては、急な宿泊の要望に答えられず、人手不足が深刻な問題となっている。

(4) 国際観光の推進

○クルーズ船やチャーター便のツアー内容やその実績を各観光施設等へ情報共有していただきたい。

(5) 事業体の強化と観光人材の育成・確保

○ロングステイ型観光のカギを握るのは中山間地域の振興である。そのため、地域の集落活動センターなどの人材確保・育成が必要。

2 現在の県産業振興計画の評価

(1) 戦略的な観光地域づくり

○宿泊施設魅力向上支援事業は、非常に的を射たタイムリーな施策として評価できる。

○デジタルデータを分析することで、実際の観光客の動向がより詳細に把握できた。

(2) 効果的なセールス&プロモーション

- 食べることが目的の観光客も増えており、「食」を全面に出した観光戦略は評価できる。
- 人とのつながりは重要であるため県が推進している「人を資源とした観光振興」は、良いと考える。
- 「らんまん」の放送に併せた観光PRや神戸市との連携などの積極的な取り組みをしていただいた結果、多くの観光客にきていただくことができた。

(3) おもてなしの推進

- GW中に、臨時のシャトルバスなどを運行したが、県外観光客からの満足度が非常に高かった。

(4) 国際観光の推進

- 台湾チャーター便の誘致や台湾に対するPRを積極的に実施していただき、中山間地域にも多くのインバウンド客に来ていただくことができた。

3 県産業振興計画の次のステージに望むこと

(1) 戦略的な観光地域づくり

- コロナの影響により、観光客のニーズがインドアからアウトドアに変化し、自然体験型の観光が人気となっていることから、サイクリングやロゲイニングなどの高知の強みである自然を生かし、「健康」、「観光」、「スポーツ」の3つを柱として取り組んではどうか。
- 修学旅行や観光に防災や地域の文化・伝統などの学びを加えてはどうか。

(2) 効果的なセールス&プロモーション

- 観光客に地域の人と触れ合い、体験してもらうことで魅力を感じてもらい、長期滞在、リピーターへとつなげることが大切。
- 滞在型観光を進めるため、「温泉」や「ゲストハウス」など、地域に埋もれがちな素材の掘り起こしをお願いしたい。
- 中山間地域の振興のためにも地域の商店街に焦点をあてた観光戦略を実施していただきたい。
- 坂本龍馬は、全国に通用する観光素材であり、PRを続けるべき。
- 高知の強みは川である。「川遊びができる高知県」と言ったようなキャッチコピーを打ち出しては。

(3) おもてなしの推進

- 「バリアフリーは古い表現であり、ユニバーサルな環境を作ることが大切である。ユニバーサルな環境づくりを推進する施策をお願いしたい。
- 広域でレンタカーを活用した周遊促進をお願いしたい。

(4) 国際観光の推進

- 大阪・関西万博を見据えた、海外、関西空港などからの定期便の就航への取組をお願いしたい。
(国際線をつなぐ直行便等) ※万博会場の来場者をそのまま高知県へ呼べるインフラ整備など。
- 大阪と連携した積極的なインバウンド観光の誘致が必要である。
- 外国の富裕層をターゲットとした、観光ヘリポートの確保(防災用のヘリポート等の活用)を検討していただきたい。
- インバウンドは、サイクリング観光が人気であるため、レンタサイクルやサイクルコースの整備等の協力をお願いしたい。

(5) 事業体の強化と観光人材の育成・確保

- これまでのような県の手厚い財政支出が難しくなることも想定して、観光コンベンション協会のDMO化など観光地経営を意識した組織体制の強化を検討すべき。
- スペックの高い若者が、ガイドとして生計が成り立つ仕組みづくりをしていただきたい。
- 地域の人をつなぐことができる、専門性の高い観光人材の育成を重点とした施策をお願いしたい。
- 人材を求めている施設等の情報を一元化した観光人材バンクのような仕組みづくりが必要である。